

令和7年度 指定管理者業務実績シート

作成年月日 令和8年6月11日

情報公開条例

部	教育委員会生涯学習部	課	文化財課
---	------------	---	------

施設名・所在地	函館市縄文文化交流センター 函館市臼尻町551番地1 函館市大船遺跡縄文広場 函館市大船町575番地1ほか 函館市垣ノ島遺跡縄文広場 函館市臼尻町416番地4ほか		
設置条例	函館市縄文文化交流センター条例, 函館市大船遺跡縄文広場条例, 函館市垣ノ島遺跡縄文広場条例		
指定管理者名	一般財団法人 道南歴史文化振興財団	指定期間	令和7年4月1日から令和10年3月31日まで
指定管理者の特別な要件	1 考古学・保存科学および博物館環境に習熟した学芸員を3名以上確保し、常時1名以上配置。 2 1名以上は文化財保存科学を専攻した者、埋蔵文化財発掘経験のある者、または同程度の知識等を有すると委員会が認める者	選定区分	公募 非公募
設置目的	・縄文文化交流センター 縄文文化を通じた交流の場の創出および縄文文化の最新の研究成果を通して歴史的意義・重要性を国内外へ情報発信することにより、観光客や研究者等の集客を促し、交流人口の拡大を図り、もって地域振興に寄与することを目的とする。 ・大船遺跡縄文広場 歴史的文化遺産である大船遺跡の保存を図るとともに、縄文時代の生活と文化に市民等が親しむ場としてその活用を図り、もって本市の文化の向上と教育の発展に資するため。 ・垣ノ島遺跡縄文広場 歴史的文化遺産である垣ノ島遺跡の保存を図るとともに、縄文時代の生活と文化に市民等が親しむ場としてその活用を図り、もって本市の文化の向上と教育の発展に資するため。		
設置年月 公開年月	・縄文文化交流センター 平成23年10月 ・大船遺跡縄文広場 平成22年4月 ・垣ノ島遺跡縄文広場 令和3年7月	建設費 整備費	・縄文文化交流センター 633,867千円 ・大船遺跡縄文広場 102,292千円 ・垣ノ島遺跡縄文広場 482,341千円
構造規模等	・縄文文化交流センター 敷地 総面積：7,140.93㎡ 建物 構造：鉄筋コンクリート造 地上2階 延床面積：1,733.43㎡ ・大船遺跡縄文広場 敷地 指定面積：71,832.03㎡ 建物 構造：木造（大船遺跡管理棟） 延床面積：185.00㎡ ・垣ノ島遺跡縄文広場 敷地 指定面積：92,749㎡ 建物 構造：木造（垣ノ島遺跡管理棟） 延床面積：99.37㎡		
開館時間 休館日等	・縄文文化交流センター 開館時間 4月1日から10月31日まで 午前9時から午後5時まで 11月1日から3月31日まで 午前9時から午後4時30分まで 休館日 ・月曜日（休日の場合は最も近い平日）・12月29日～1月3日・毎月最終金曜日 ・大船遺跡縄文広場 開館時間 4月1日から10月31日まで 午前9時から午後5時まで 11月1日から3月31日まで 午前9時から午後4時00分まで 休場日 12月29日～1月3日 ・垣ノ島遺跡縄文広場 開館時間 4月1日から10月31日まで 午前9時から午後5時まで 11月1日から3月31日まで 午前9時から午後4時00分まで 休場日 12月29日～1月3日		
料金体系	<input type="checkbox"/> 利用料金制の採用の有無 無 一般 個人：300円 20人以上の団体：1人につき240円 学生・生徒・児童 個人：150円 20人以上の団体：1人につき120円 ※大船遺跡縄文広場および垣ノ島遺跡縄文広場は入場料無料		

<p>1 指定管理者が行う業務の内容および実施状況</p> <p>(1) 管理業務</p> <p>ア 受付, 案内および監視業務</p> <p>イ 体験講座, 体験学習 縄文体験講座 「縄文染め」「縄文釣り体験」「縄文土器づくり体験」「縄文世界遺産クイズラリー」ほか 縄文ペンダントづくり, 組紐アクセサリーづくり</p> <p>ウ 縄文文化特別研究 1件の応募があったが, 本事業に合致しないことから申請を受理せず却下した。</p> <p>エ 展示・環境管理業務</p> <p>オ 企画展 「国宝『土偶』カックウ発見50年のあゆみ」 開催</p> <p>カ レファレンス業務</p> <p>キ 北海道博物館協会に関する業務, 道の駅の管理に関する業務</p> <p>ク 資料の保管, 借受け, 利用許可, 指定文化財(国・道および市)の取扱いに関する業務</p> <p>ケ 施設の維持管理に関する業務(清掃, 警備, 設備保守点検, 塵芥処理, 除雪, 修繕等)</p> <p>コ その他センター等の維持管理に関し必要と認められる業務(物品等の調達, 光熱水費等の支払等)</p> <p>サ 教育委員会または指定管理者が必要と認める業務(公金収納, 危機管理, 広報等)</p> <p>(2) 委託業務</p> <p>ア 函館市縄文文化交流センター使用料収納事務委託</p> <p>(3) 自主事業</p> <p>ア 縄文文化の普及・啓発</p> <p>イ 他団体と連携したイベント実施 史跡大船遺跡清掃活動, シーニックの日花苗植栽活動, シーニックdeナイト2026</p> <p>ウ ミュージアムグッズ販売</p> <p>エ 道の駅売店運営</p> <p>オ 他団体との商品開発</p>
<p>2 市民サービス向上のためのその他の取り組み実績</p> <p>ア 市政はこだて, ホームページ, SNS等による広報活動</p> <p>イ 「はこだて縄文まつり」の開催 「中空土偶をだっこしてみよう」</p>
<p>3 市民ニーズの把握の実施状況</p> <p>ア アンケートボックスの設置(通年) 選択式による交通手段や展示の満足度等のほか, 自由記述による意見・要望の記載欄を設け, 適宜対応している。 令和7年度回答数: 713件</p> <p>イ 窓口対応(通年)</p>

4 施設の利用状況

・令和7年度の月別入館者数

3施設合計

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	4,639	8,268	8,129	9,858	11,939	8,870	7,309	4,234	1,155	675	1,202	2,984	69,262

縄文文化交流センター

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	1,882	3,204	3,137	4,160	5,062	3,483	2,957	1,908	607	375	632	1,386	28,793

大船遺跡縄文広場

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	1,130	2,073	1,923	2,287	2,712	2,136	1,704	888	142	79	158	612	15,844

垣ノ島遺跡縄文広場

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	1,627	2,991	3,069	3,411	4,165	3,251	2,648	1,438	406	221	412	986	24,625

・年度別利用件数

(単位：人、円)	← 前々期指定期間 →	← 前期指定期間 →	← 当期指定期間 →			
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用件数	18,307	29,838	36,936	31,551	30,794	28,793
使用料収入	3,499,350	6,386,760	8,324,550	7,258,020	7,026,420	6,655,110

※平成28年度から指定管理者制度導入

※大船遺跡縄文広場および垣ノ島遺跡縄文広場は入場料無料

5 指定管理者の収支状況

(単位：円)		← 前々期指定期間 →	← 前期指定期間 →	← 当期指定期間 →			
区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入	委託料	46,773,000	51,177,000	50,541,000	48,457,000	48,457,000	94,682,000
	利用料金						
	事業収入	335,100	374,250	365,200	367,900	446,550	400,250
	雑入	0	0	0	0	0	0
	計	47,108,100	51,551,250	50,906,200	48,824,900	48,903,550	95,082,250
支出	人件費	21,889,257	24,850,574	24,133,021	23,871,108	24,393,966	42,950,569
	消耗品費	2,187,668	1,865,442	1,865,249	2,182,191	1,741,480	2,548,270
	印刷製本費	419,939	862,774	333,397	78,016	442,756	839,495
	修繕費	722,550	457,500	318,700	470,500	0	3,140,400
	水道光熱費	4,757,305	4,974,574	5,923,995	4,986,831	5,400,606	6,244,124
	通信費	422,353	441,786	435,054	450,055	437,806	1,309,369
	業務委託費	9,386,124	9,314,253	9,764,105	10,014,227	9,670,782	18,595,279
	リース料	1,015,843	2,063,077	2,115,212	1,825,765	1,936,261	4,308,039
	租税公課	4,282,552	4,686,479	4,627,836	4,438,626	4,445,775	8,651,042
	原材料費	0	0	0	0	0	0
	その他の支出	1,201,318	365,001	1,349,620	485,736	128,383	651,099
	計	46,284,909	49,881,460	50,866,189	48,803,055	48,597,815	89,237,686
	当該施設の利用者一人当たり税金投入コスト		2,364	1,501	1,143	1,306	1,345

6 モニタリングの実施状況および指定管理者に対する改善指示等の実施状況

実地調査の実施 (有) ・ 無

ア 管理業務実績報告書、事業報告書・財務諸表を年次提出

イ 実地調査(随時)

7 指定管理者に対する評価

① 指定管理者の自己評価

区分	評価	評価の内容	課題と今後の対応
業務の履行 状況	<input type="checkbox"/> A <input checked="" type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	仕様書に基づき、縄文文化交流センターの適切な管理運営に努めた。	「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録から4年が経過し、その効果が徐々に薄れてきている状況が見られ、縄文文化交流センターや旭ノ島遺跡、大船遺跡への来遊者数は、前年度と比較して減少傾向にあります。一方で、函館市では令和7年度の函館港へのクルーズ船寄港回数は過去最多を更新し、来年度も前年度同様の寄港が見込まれており、国内外からの観光客のさらなる来訪が期待されています。 こうした状況を踏まえ、縄文センターと両遺跡の連携を一層強化するとともに、来訪者が縄文文化の価値をより深く理解し、体験できるような展示や体験機会の充実を図り、魅力ある施設運営に努めてまいります。 また、令和7年度には土俵昇壇50年を記念し、オリジナルのミュージアムグッズを制作・販売するなど、縄文文化の魅力発信に取り組みました。令和8年度においても、こうした取り組みを進め、継続的な誘客と満足度向上につなげていきたい。
サービスの 質の状況	<input type="checkbox"/> A <input checked="" type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	来館者の要望や意見を常に従業員が共有し、入館案内や解説、講座などのサービスを充実させることで、各種業務の質の向上に努めてきた。	利用者からの意見や要望については、職員間での情報共有を図り、サービスの質の向上に取り組みできたが、さらなる満足度向上に向けては、収集した意見の分析や改善への反映を一層強化する必要があると考えています。また、ホームページやX(旧ツイッター)など多様な媒体を活用し、体験学習や体験講座、イベント情報の発信に努めているが、情報発信の効果を高めるため、内容の充実や更新頻度の向上が課題と捉えています。 今後は、利用者の声を継続的に収集・分析し、ニーズに応じたサービス提供と改善を図るとともに、各種媒体を効果的に活用した情報発信の強化により、さらなる利用促進とサービスの質の向上を目指していきたい。
団体の経営 状況	<input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C	特に問題なし。	現在、物価上昇が続く中、施設運営に必要な経費や体験学習、体験講座の材料費が増加することが懸念されています。このような状況を踏まえ、今後とも収支状況を的確に把握し、利用者がより楽しめるサービスを提供できるよう、安定した運営に努めていきたい。

② 市の指定管理者に対する実績評価

区分	評価	評価の内容	課題と今後の対応
業務の履行 状況	<input type="checkbox"/> A <input checked="" type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	管理業務処理要領に基づき適切な管理運営および事業が行われている。	令和4年度より入館者数が減少し続けているが、これは「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産に登録されて4年が経過したことに加え、当該年度においては、五稜郭や函館山を舞台としたアニメ映画のヒットにより他の観光施設に来訪者が集中したことや、夏季期間に函館土俵を他館に貸出していた等の影響があったためと考えられる。今後は、団体の動向分析や旅行業者へのプロモーションを行うなど入館者の増加に向けた取り組みを進めること。 また、各事業や体験学習においても、参加者数の減少が見られたため、新たな企画の導入など改善策を検討・実施すること。
サービスの 質の状況	<input type="checkbox"/> A <input checked="" type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	アンケートの実施やホームページ・SNSを活用した情報提供など、安定したサービスの質が保たれている。	より一層のサービスの質の向上を図るため、定期的に展示解説や接遇に関する研修のほか遺跡ガイド向けの研修を実施し、スタッフ間の情報と対応方法の共有等に取り組みよう努めること。また、入館者のニーズをより的確に把握するため、オンラインアンケートなどの方法を積極的に活用すること。
団体の経営 状況	<input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C	団体の経営状況に問題はない。	引き続き安定した団体運営に努めること。

◎ 「業務の履行状況」「サービスの質の状況」

- A 協定書を遵守し、事業計画書及び仕様書の水準以上がなされている。
- B 協定書を遵守し、事業計画書及び仕様書の水準どおり行われている。
- C 協定書を遵守しているが、事業計画書及び仕様書の水準をやや満たしておらず、課題がある。
- D 協定書や事業計画書に不履行がある。または、業務水準を満たしていない。

◎ 「団体の経営状況」

- A 事業収支、経営状況に問題はない。
- B 事業収支、経営状況の今後に注意を要する。
- C 事業収支、経営状況に早急な改善を要する。